



5月 もりぴただより

2024.5.1
放課後等
デイサービス
もりぴた



新年度がはじまって、はや一ヶ月ですね！もりぴたも新年度の目まぐるしい変化に追われ、たよりも4月が空いてしまいました…申し訳ありません…すっかり雪もとけて、外で過ごしやすい日々が続いています。新しい先生も増えて、もりぴたの過ごし方も多様になってきました。

雨の日は雨の楽しみを

雨の日には雨の日にはしか見られないもの、体験できないものがある。水たまりや濡れた枝、カタツムリ、つめたい空気…雨の日を楽しむなんて、なかなか簡単なのかも。



もりぴた特製！自分でつくった枝と木のスコップで開墾中。



キャップを重ねて緑の壁



自然を使ったフィットネスジム：グリーンジムか？！



屋根の雪解け水を貯める。この後はスープづくりに。



もりぴたの畑づくりのお手伝い。昨年の羊の堆肥を掘り出す。よい土。



最近はやりの駒岡さんぽ。まだまだ知らない場所があるかも？



登録児童数：24人・スタッフ：8人（2024.5.1現在）

放課後等デイサービス
もりぴた

〒005-0861
札幌市南区真駒内165-206

お問い合わせ
011-211-6882
https://h-navi.jp/support_facility/facilities/161466

コラム

先日、高校生の男の子がボランティアスタッフとしてもりぴたに参加しに来てくれ、一日もりぴたの子ども達と楽しく遊んでくれました。年が近いので、ボランティアの子ども達も、少し緊張するかな、と思いましたが、そのボランティアの子が親しみやすかったこともあり、すぐに打ち解けていっしょにお話したり遊んだりしていました。もりぴたでは、市内の団体と連携しており、普段から（土曜日が多いですが）10～30代くらいのボランティアが関わってくれています。当然、デイにおける最低限の前提知識や守るべきことは説明した上で参加してもらっていますが、なるべくボランティアが関わりやすい形で参加してもらっています。子ども達からすると少し年上のお兄さんお姉さんのボランティアには、子ども達は普段の我々スタッフとはまた違った表情や関わりを見せます。初めての人に子ども達は緊張することもあります。これから社会に出ていく子ども達にとって、初めての人に出会う、という経験や、友達や家族、先生以外の人に出会う、というのは大きな経験になると考えています。また一方で、関わってくれるボランティアにとっても、放デイの子ども達と出会うというのは大切な経験になるとも考えています。放デイという場所や放デイに通う子ども達を、もっと放デイの外にいる人達が知って、変わっていくべきものがあると思っています。

そもそも「障害」という言葉は、本人が持っているものを指すのではなく、社会が持つ「障害（バリア）」のことを指します。人が生きていく上で感じる困難さや課題感を解消していくとき、よく本人が変わることのみを考えてしまいがちですが、一方にはその人を取り巻く環境や社会があるわけで、それが変わることによって解消されるものもあるはずなんです。もりぴたは、普段からボランティアを受け入れるだけではなく、関係機関や学校、地域と積極的につながりを求めます。このお便りも、つながったところにはお渡ししています。こうした姿勢をオープンであると評価いただくことも多いですが、もりぴたと子ども達を知ってもらうことで、良い方向に向かうことがあるのなら、いくらでもオープンにしたいと思っています。それはやはり、ここにいる子どもたちを、今もこれからも受け入れてくれる社会であってほしいと強く思うからです。（管理者 崎川）



先日スタッフ全員（とよく関わってくれるボランティアの子）がMFA（メディックファーストエイド）という国際的な市民レベルの応急救護手当の訓練プログラムを受講しました。楽しい遊びや挑戦できる環境づくりには、まず安全で安心できる環境が不可欠です。いつかもりぴたでも、関係者のみなさんが参加できる形で開催したいですね！

5月の行事

- 11日 もりぴたcafe
- 15日 虐待防止・身体拘束適正化研修
- 5月中 畑づくり

お知らせ

【R6年度報酬改定に関しまして】
すでにお知らせさせていただいておりますが、4月より皆さまがご利用している放デイを含む障害福祉サービス等が一部改定されました。それに伴って重要事項やご利用（主に利用料や延長支援等）に変更が出ております。ご不明な点などありましたらお気軽にご質問ください。

5月 もりぴただより（裏面）

